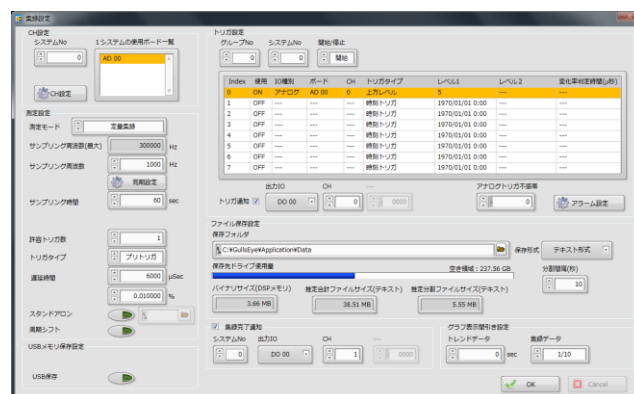


GullsEye

高速データ集録用ソフトウェア

- 最大 4 台の SEAGULL®システムから同時にデータ集録可能
- 測定モードは 4 種類（定量、繰返、連続、繰返（無制限））
- データ表示画面の GUI は、自由にカスタマイズ可能
- 通信障害発生時、USB メモリにバックアップ可能



実行環境

OS	Windows 7 (32bit 版 / 64bit 版) Windows 10 (64bit 版)
----	---

ハードウェア構成

SEAGULL システム		最大 4 台
DSP ボード		1 システムに 1 枚
RAS ボード		1 システムに 1 枚
データ集録	16bit AD ボード	1 枚につき 32ch(最大 1408ch)
	24bit AD ボード	1 枚につき 16ch(最大 704ch)
	DI/CNT ボード	1 枚につき DI 32ch(最大 1408ch) / CNT 8ch(最大 352ch)
ステータス通知	RAS ボード	アラーム
	16bit DA ボード	アラーム, トリガ発生, データ集録完了
	DO/PWM ボード ※	アラーム, トリガ発生, データ集録完了

※：PWM モードは非対応

機能概要

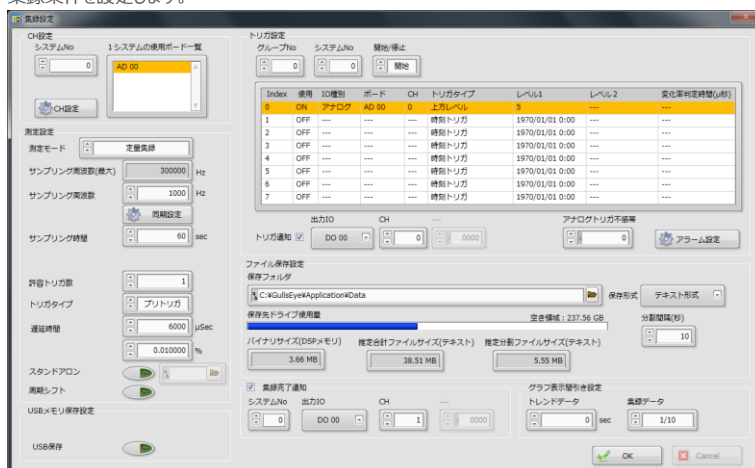
サンプリング	最大 300[kHz] 詳細は、 http://www.mtt.co.jp/dsp/seagull_system1.html を参照
トリガ	手動, 時刻, 時間間隔
アラーム	アナログ：レベル, クロス, 入力値変化量 デジタル：立ち上がりエッジ, 立ち下がりエッジ, カウントラッチ
トリガタイプ	プリトリガ, 遅延トリガ
工学値変換 ※	1 次式, 2 次式, 1/2 次式
集録データサイズ	定量集録：約 510[MB] 繰返集録：約 160[MB] 連続集録, 繰返集録(無制限)：ホスト PC の HDD 容量に依存
保存形式	CSV, TDMS(LabVIEW), MAT(MATLAB)
グラフ表示	1 グラフに 10ch(最大 16 グラフ)
ファイルビュー	保存した集録ファイルのデータを表示
処理時間	サンプリング処理時間, 集録データ取得時間, データ保存時間の使用率を表示
その他	オフラインモード, スタンドアロン, イベントログ

※：AD ボードに限る

操作フロー

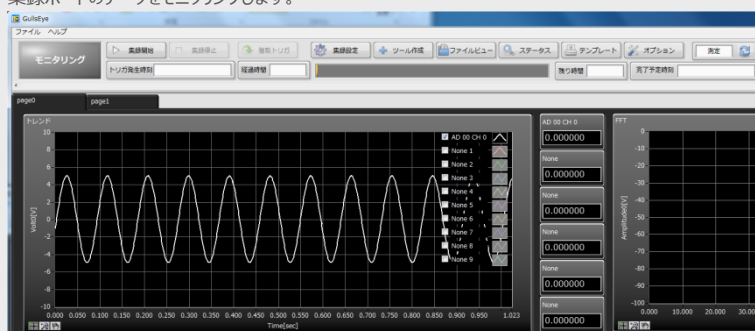
集録設定

集録条件を設定します。



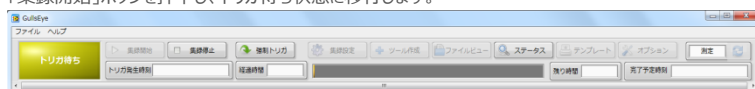
モニタリング

集録ボードのデータをモニタリングします。



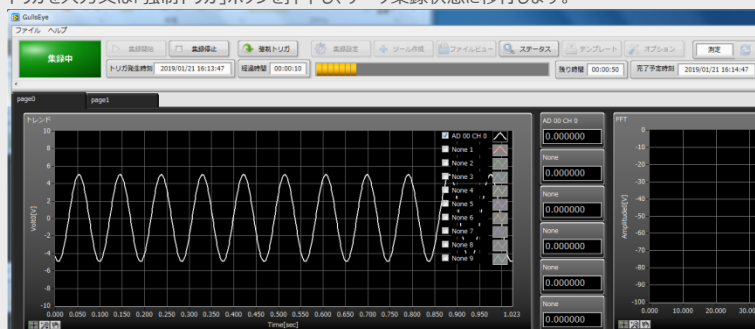
トリガ待ち

「集録開始」ボタンを押下し、トリガ待ち状態に移行します。



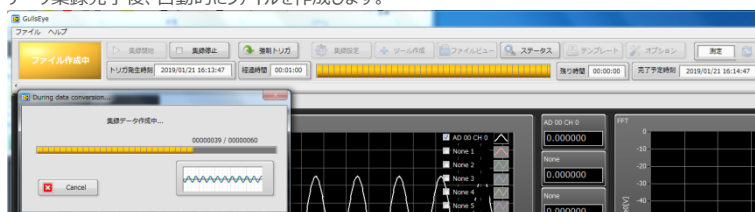
データ集録

トリガを入力又は「強制トリガ」ボタンを押下し、データ集録状態に移行します。



ファイル作成

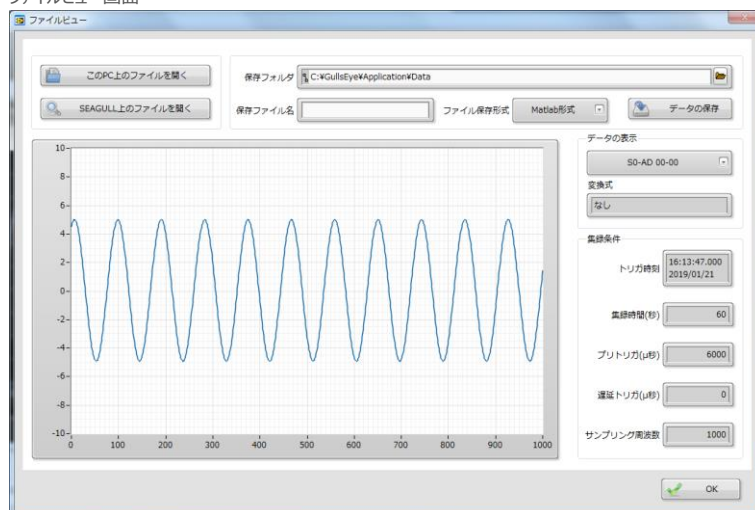
データ集録完了後、自動的にファイルを作成します。



各機能画面

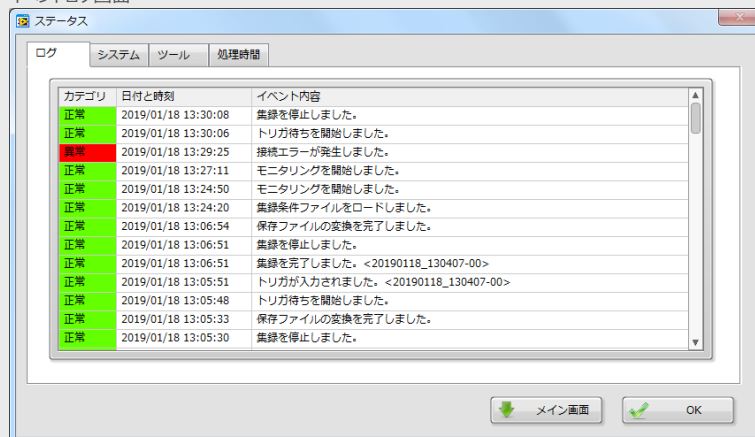
ファイルビュー

ファイルビュー画面



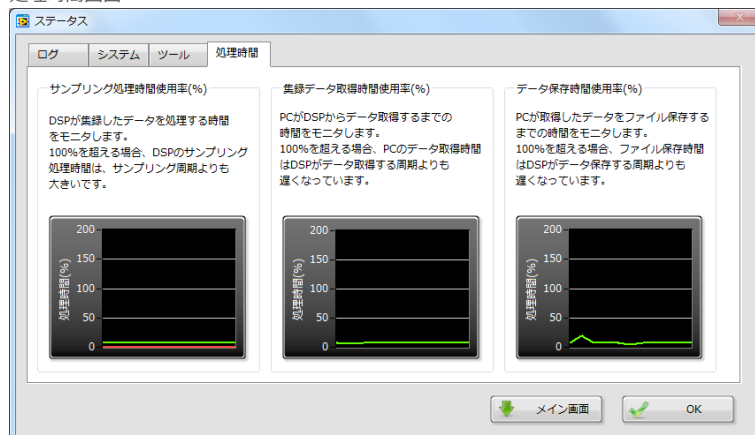
イベントログ

イベントログ画面



処理時間

処理時間画面



ツール

使用可能ツール一覧

